

# バストス週報

第四三三号  
 昭和卅三年  
 七月廿七日  
 発行  
 DIRECTOR  
 KOITI MORI  
 REDATOR  
 SHION ODA  
 RUA PRES.  
 VARGAS 188  
 C. P. 112  
**BASTOS**  
 C. P.  
 ANUAL  
 CR. 本  
 100,00

天の邪鬼 22

## 協力実を結ぶ

祭典盛況裡に

近未まれに見る盛大な祭典、足かけ四日、歡喜のルツホと化したバストス三十一年祭も無事終了。関係者はやれやれと胸をなであらしめた。何一つおちがいの起らな、ケンカもケガ人もなく、紛失忘れもの、盗難、火災の災に到る迄至極平穩だったことも理想郷の名にそむかない。お天気が上々、気候佳とよく、夜おそく、芝居見物をしても安心と到れりつくせりの神様の御サービスであった。

### 表彰式風景

バストス三十一年分組三十一名の表彰式が七月十八日夜十時演舞場で催された。一人々々よび出され、長い花道を歩いて中実までくると、まちかまえているから、拓の宮坂代表さんが表彰状と木盃を渡す。次にバストス祭典委員会から同トく表彰状と記念品、次に聖市バストス会からの表彰状と記念品、受ける方はとまどい、そして完全に上へ、いまい、湧く様な拍手の嵐。この演出を計画した本田總務は得意の衆告いともさわやかに、ここぞと拍車をかけて、いやが上にも気分をそそるので、祭典の感激に呑まれる思いであった。受賞者の左巻は何と、いつてもカスカツタの山中権吉老であった。近未眼を手術してまだ回復せず、孫に手を引かれてトボトボと花道へ掛る姿は、眞の芝居を見ていさよう、表彰状を渡される時反対の方を向いて、のさそいから、向きなわされる光景、三十年前には在伯入植一番乗り、日本直来の新移民を叱りつけた豪の者、口も八丁、手八丁の山中老も、よる年波にはたわいもなく孫の杖に懸る、人生の縮図を、チラチラツと一齣のフィルムに、おこめた程の感激の一時であった。舞台にまわって、いた人の感想では、やたらに涙が落ちて、あたりがほろりとかすんで見えたと。

見上げたホーンフォン精神  
 この表彰式があまりに見事だったのて、時間がかけみ出でし、演舞の方は、おるおると後まざり、演舞など、どうかいって、馬鹿なことを言わつし、やい、時間は、いくらもあるし、夜道に日はくれ

ALFAIATARIA IMPERIAL



丸山洋服店

## わかもと



胃腸を守る 守護神 わかもと

わかもとは  
 体力をつくり  
 精神力をつくる

東京わかもと製薬株式会社 謹製  
 伯国總代理店 パウリス製薬会社  
 中久保益太郎

ないが、夜も更けて半前一時ともなれば、親客が帰ってしまふ。見物人の居ないアライでしんがり、勤める出演者の気持をわか、つて、最後のホーンフォン青年団の一幕物、八日夜の最後は、ホーンフォン青年団の一幕物、数人の勤進元四五人、わかれし、か居ないアライを、おじめに、つとめ、いささかの不平を、い、わかに、幕を開いて、それから十数キロ、山路を帰っていった。西ヶ田区長心中、あわが、このホーンフォン精神こそ、やがて、御等が、社会人として活躍する時の礎石となる、貴重な魂である。



# 鈴木總領事の墓参

大谷光紹新門主人を迎えて慰霊祭をする計画は先師の旅行の三都合で延期となり七月十八日は、軍に墓参しようことになった。十七日より、東植中の鈴木總領事御夫妻、坂領事、宮坂南銀頭、天野、うら製糸代表夫妻、連日会役員などがエライ全部が納骨堂前の祭壇に参拝して、バストス先と者の霊を慰めたことはバストスのものレリもかつてないことと感激した。三十周年の栄えの目を見ないで中途に没した人は約二千に余る。その先没者の中にはバストス人にとつて失れがたい功績をのこした人達もいる。

鈴木總領事は僧侶の流経后、主だった墓石を主人共々一々歴訪して早意を表した。こんな処にも總領事の人柄が偲はれて非常な好感を与えたもののようにある人というものは、手腕もさること乍ら、心温まる人柄、いふ所の人格がいかに大切かをしみじみ感ぜらる。從總領事の墓参を受けられた遺族たちは心中オロオロと泣いたことであらう。

ついでにもう一つ、總領事は、こうした墓参のためパン発のリアル様を一時向のりおくれせしめた。普通の人が、このリアル様の方では、どうも、このリアル様とたふり一時向まてくれた相である。日本の威力など感ぢかれないで下さい。總領事の人柄がリアル様のエナゲトとなつて報いられたものであらう。心あたれたる話である。

總領事のお参りを受けた故人は吉永、脇山、溝部、松本、佐藤(福)の諸氏であつた。

# 農産物の見事さ

今年は今場所がトルッお枝になつたので一寸老人にはものぐさだが一堂に生花、鳥、手芸と集つてゐるの參觀には好都合だつた。先づ入口の卵門がすばらしい。卵の都バストの象徴、豪華なデコレーションである。玉子一打五〇枚だから玉子だけで二十コトが、ついているなと計算する人が大へん多い。けつこうな傾向である。農産物の出来のよいことは驚くばかり。番査にあつたトールたちの訪では全伯農界の最高水準をさうである。養鶏果樹養産、ソサイ往として可ならざることなきバストスの農家に幸あれ。

シャイカラ小沢将男さん！といつても誰も知る才いが、研究心にかけては全伯一或は二、とにかく盛んな農魂の持ち主である。同氏出品のバナナ、或者雞糞態は人目をひいた。あるいは養鶏界の転換を指示するものとの声が高い。小沢君は聯合青年團の団長である。今迄の団長は何

## SAPATARIA BASTOS

### ロカビリー

ロッキンロールなどバストスには、はじけわたせたくありませんが、クツだけは御紹介！



早川靴店

これも商人や役人、事務関係の人が多かつた。それに引換へ小沢君は生れながらの農人である。しかも博學識識家、細心、農村青年の心に明るい希望の灯をともす人として、五年も六年も指導の責任を押しつたい。

生花展の向上

バストスの生花が展示されはじめては二十五年の時からである。この六年の間に、大師範宮武氏のひたむきな指導が遂にものをついた。といえる。氏の気量の大きな点、流儀が何派であらうとバストスを愛する一アトラクションとして統一と愛を樹てなかつた点にある。だから本由種芳園女史のひびきと今日因照した枝を、師弟友情以上の芸術的な出来、美しい師弟友情以上の芸術的なほのほとした感情が会場一はいと漂つていた。枝柄もすはうしく上達している。花器もだんごと更新され、立派なものが見られでありがたかつた。

# 写真展

今年は今場所とちがつて派手なワリスと大看板を上げたので、出品点数も多く、よその作品もまじつて賑やかだつた。概して作品もよいのが多く、写真展として上成績であつた。

- 一席 古賀一敏君 (兄さんの自転車)
- 二席 バルーン長沢信二君 (青春期)
- 三席 宮崎将義君 (ホーキ)
- 三席 早川 (花)
- 三席 岩中 (兄弟)
- 三席 岩中 (陽ざし)

以下次号

# 御わび

七月十九日バストス三十周年記念表彰式典に文化功勞の表彰者織田守男氏の場合、係の混雑から授與漏となりましたことを深く御詫が申上ります。

一九五八年七月二十二日

バストス三十周年記念委員長 各口 章







祭典寄附のつき

カスカタ区 取扱区長 渡辺 忠助氏	寄附金額 (才一回払込)	寄附金額 (才一回払込)
渡辺 喜助 様	一五〇〇	一五〇〇
田中 里二 様	一五〇〇	一五〇〇
山村 吉右衛門 様	一五〇〇	一五〇〇
狩屋 一男 様	一五〇〇	一五〇〇
森 中 桂 様	一五〇〇	一五〇〇
大名 門政 利 様	一五〇〇	一五〇〇
小野 身次 郎 様	一五〇〇	一五〇〇
森田 全藏 様	一五〇〇	一五〇〇
高橋 久雄 様	一五〇〇	一五〇〇
及川 一郎 様	一五〇〇	一五〇〇
遠藤 常治 様	一五〇〇	一五〇〇
遠藤 安正 様	一五〇〇	一五〇〇
猪熊 才八 様	一五〇〇	一五〇〇
萬谷 進 様	一五〇〇	一五〇〇
辻 武 文 様	一五〇〇	一五〇〇
上村 大八 郎 様	一五〇〇	一五〇〇
古賀 実 様	一五〇〇	一五〇〇
平井 有利 様	一五〇〇	一五〇〇
東 清 様	一五〇〇	一五〇〇
東 豊 様	一五〇〇	一五〇〇
渡辺 孝 様	一五〇〇	一五〇〇
山中 権 去 様	一五〇〇	一五〇〇
山中 三 郎 様	一五〇〇	一五〇〇
上山 明 彦 様	一五〇〇	一五〇〇
垣本 左 武 郎 様	一五〇〇	一五〇〇
奥水 利 国 様	一五〇〇	一五〇〇
富山 太 郎 様	一五〇〇	一五〇〇
真野 四 郎 様	一五〇〇	一五〇〇
味野 光 大 様	一五〇〇	一五〇〇
上村 大 郎 様	一五〇〇	一五〇〇
中岡 隼 人 様	一五〇〇	一五〇〇
平井 俊 雄 様	一五〇〇	一五〇〇
小野 義 雄 様	一五〇〇	一五〇〇
藤井 竜 彦 様	一五〇〇	一五〇〇
大名 阿 幸 利 様	一五〇〇	一五〇〇
寄附金額	二六、〇〇〇	二六、〇〇〇
第一回払込	一、二、六五〇	一、二、六五〇

サウカ区 取扱区長 北谷 幸雄氏

芳名 (寄附金額)	寄附金額 (才一回払込)
北谷 幸雄 様	一、〇〇〇
湯原 有 米 吉 様	一、〇〇〇
加藤 藤 勇 様	一、〇〇〇
新谷 十 太郎 様	一、〇〇〇
山本 光 治 様	一、〇〇〇
虎岩 力 松 様	一、〇〇〇
金子 光 文 様	一、〇〇〇
塩飽 康 文 様	一、〇〇〇
菊地 清 治 様	一、〇〇〇
沖山 知 也 様	一、〇〇〇
海野 武 男 様	一、〇〇〇
木口 正 巳 様	一、〇〇〇
寺岡 熊 市 様	一、〇〇〇
戸来 金 太郎 様	一、〇〇〇
寄附金額	一〇、〇〇〇
第一回払込	一、〇〇〇

サウカ区 つぎ

田地 昭 様	五〇〇	五〇〇
大井 浩 様	二〇〇	二〇〇
加藤 義 信 様	二〇〇	二〇〇
萩原 弘 太郎 様	一〇〇	一〇〇
緒方 辰 男 様	一〇〇	一〇〇
丸山 嘉 一 様	一〇〇	一〇〇
平野 照 治 様	一〇〇	一〇〇
岡野 左 平 様	一〇〇	一〇〇
吉田 朝 二 様	一〇〇	一〇〇
弘田 茂 徳 様	一〇〇	一〇〇
堤 中 藏 様	一〇〇	一〇〇
吉原 久 一郎 様	一〇〇	一〇〇
伊藤 盛 生 様	一〇〇	一〇〇
寄附金額	七、九〇〇	七、九〇〇
第一回払込	四、七五〇	四、七五〇

祭典特別寄附

- 金 二万クルゼイロス也  
コチア産業組合バストス倉庫様より
- 金 二万クルゼイロス也  
スールブラジル産業組合バストス出張所様より
- 金 一千五百クルゼイロス也  
アサイ市 山中陽之助様より
- 金 一千クルゼイロス也  
ホンペイア ジャット農機具製作所様より
- 金 一千クルゼイロス也  
サンジョセ、ドスカホス市 茅野 甚吾様より
- 金 一千クルゼイロス也  
寺岡 豊様より
- 金 一千クルゼイロス也  
シャーカー区外 平藤 慶治様より
- 金 一キヤラメル百個  
A SULTANA S/A 高木幸雄氏のお世話でスルクーナ菓子会社様より
- 一 わかもと 一〇二本 (三〇錠引換券)  
第二回分として 佐伯時春様のお世話でわかもと總代理店様より

以上の方々より本祭典に御寄附下さいました、厚く御礼申上ります  
七月二十一日

特別会計  
早川 栄 松  
柳浦 竜太郎







御 礼 の 辞

去る七月十八日夜、私達三十一名はバストス開植草分組として表彰を受ける光栄に浴しました。何千という観衆から拍手を浴びて舞台に立ち、一人々に労を摘らわれました上、結構な記念品を副えて三通の表彰状を贈與されました時は萬感胸に迫り、思わす滂沱として落つる涙を拭ふることが出来ませんでした。

顧みますと三十年前(昭和四年)それそれ希望を懐いて当バストスに入植致しましたが、不幸にして幽明境を異にしたものもあり、それらの寡婦遺児等よく志を嗣いで今日に到りましたが開植の苦楽悲喜交々錯綜として往時を回顧すれば、まことに一場の夢の如くであります。唯々バストスを故郷として生き抜いた迄の私達にかほどの讃辞を賜わりました事は終生再び逢い難い喜びでござります。最大の感激を以て謹んで御礼の辞といたします。

一九五八年 七月二十一日

- |        |        |
|--------|--------|
| 古川 誠三  | 中野 米太郎 |
| 榎原 義一  | 佐藤 かほる |
| 若野 耕一  | 長橋 いさ智 |
| 桑原 久次郎 | 川辺 いさの |
| 夫野 朝代  | 板垣 泰六  |
| 藤田 佐太郎 | 井上 孫六  |
| 吉浦 秀次郎 | 白井 しな江 |
| 吉田 与三郎 | 栢野 益子  |
| 井上 源次郎 | 吉沢 一郎  |
| 石田 良一  | 伊藤 藤一  |
| 伊勢島 義忠 | 本田 静一  |
| 古賀 繁雄  | 西本 静一  |
| 山中 植吉  | 岡本 一雄  |
| 味野 光史  | 本田 正雄  |
| 上山 明彦  | 越智 ちか  |
| 板垣 八郎  |        |

バストス開植三十周年祭典委員会 殿  
 フラジール 拓植組 合殿  
 在サンパウロ、バストス 会 殿



御 礼

昭和三十三年七月十八日は、私の一生を通じ最も記念すべき佳き日でありました。諺に「枯木も山のにぎわい」とか申しますが、この枯木に該当する私の如きものをまで、あのような盛大な式典にお迎へを受け、表彰されました上、数々の記念品を授與されました事は全く身に余る光栄と存じます。「わが生涯の輝ける日」という言葉通り感激いたしました。ありがとうございました。

一九五八年七月十九日

井 上 孫 六

バストス開植三十年祭々典委員会 殿  
ブラジル柘植組合業務担当組合員 殿  
宮 坂 好 人 殿  
加 藤 好 之 殿  
在サンパウロ市バストス會 殿

當 選 御 礼

このたび入植祭の「卯祭り」に、おすすりめを受け、カンジタツौरラいたしました。みなさまの御骨折りと、御同情により、ラインニアの榮冠を戴くという幸運を得ました。二十日夜の戴冠式は余りにも晴れがましく夢のようでごいしました。魚上の感激を以て御礼申上げます。

七月二十一日

信 太 典 子

卯祭りの女王候補を学校から出すことになったので、私たちのクラスでは、信太典子さんを推すことになりました。推薦した以上何とか勝たせたいと一歩けんめい頑張りました。幸に「女王」さんの冠を戴いたので、本人以上、私たち後援者は嬉しく思います。ありがとうございました。

信太典子さん後援会  
サンジョセ高商二年 脇山俊夫、宮部宮 丈

娘、典子<sup>のりこ</sup>が立候補いたしました。節はバストスの諸兄弟、サンパウロ、パラナ方面からも多大の後援を受けました。誠に御好意の程感謝いたします。簡単作業の御挨拶まで。

信 太 兵 治



AVISO

CASA DA LAVOURA

deparamos ao conhecimento dos Srs. Lavradores, que a Casa da Lavoura esta recebendo pedidos de semente de Algodão, Amoz, café, milho híbrido e todos cereais.

カーザヌラボーラより

おしらせ

アルゴトン、アロース、カフェー、ミリーヨイブリード、其他雑穀。セメントを、実費で取次きます。すでにフランタ時期が迫っているので、できるだけ早く、申込んで下さい。

A casa da Lavoura comunica que já esta acertando inscricoes para a 1ª. etapa de coperações de milho afteca, a CR. de 8.00 / kilo, e milho híbrido a CR. de 12.00 / kilo. Os interessados devem se comunicar com o Sr. Boris que orientará gratuitamente a todos.

尚カーザヌラボーラでは

カンホネコペランソンの  
○ミリーヨアステカ 一キロ ハクルゼーロ  
○ミリーヨイブリード 一キロ ニニルゼーロ  
まで申受けます。カンホネコペランソンの関し希望者は、ドットル、ホーリス氏へ御照会下さい。無料にて指導いたします。

敬老會大賑

七月二十日旧アセンシアソロカバナの建物で行われた敬老會に招待された男女老人は百四十人、出席者百二十人の盛會で、内五人はブラジル人であった。又畑中仙次郎は本年から招待されたがうれしうようなくすぐったい様な顔であった由。

音楽 おどり、手品などの余興があり、記念品や、パウリスト製菓のわかもと一びんのおみやげもあり、大よろこびであった。

短歌會報

七月二十日午前九時より週報社サロンにて入植三十年祭短歌會を催した。出席十九名、聖市榎田陽荘、ツパン、重招純造、西氏(歌なし)、パラナ木村僚花、地えから、星野清、石倉佐内、初出席、池田夜詩緒さん、久々に帰植され、日本の先生方の短冊二枚寄贈されたので、用意の賞品と共に総得点者、高 点 順

- 胸張りて舗道歩ゆど兆しける 浅田孤舟
- 不安け去らば手術の傷あと 吹本菊子
- 腑におちぬ言葉にわれの問返す 河野 富美
- こわはる 面を意識しながら 森重扶美
- 人前に腫すわが性うとみつつ 渡辺バウロ
- 羨しと聞ける友がユーモア 榎田糸子
- 誰からもうんせされる老猫は 土井けいし
- 素枯れ一菊の蔭に眠れる 工藤 勘一
- 魚が水を得たるが如くさびく 星野きよし
- バスターに來る農田ドクター 重道千代子
- 幼らに急かれ出で来し身の腕の 木村僚花
- 鍋裏に氣づく人出の街に 石橋奇峯
- 深霧の空鳴き渡る山オーム 角藤忠雄
- パラナ大河に声を落して 森重羊鈴
- 三十年踏み固め来しバスターの 小野山文春
- 早曉の空に祝砲とどろく 石倉佐内
- 巫小すて別れし人の面影に 榎田糸子
- 似通ふ人の今宵又逢ふ 工藤 勘一
- あの星が流れてくれぬが昨日今日 星野きよし
- 想い叶はぬ事のみ多く 重道千代子
- 日本より移植されしカラダナの 木村僚花
- 青葉なげれど人ら奇り見る 石橋奇峯
- 香を立ちまじはれる牛乳を造るの 角藤忠雄
- 鮮をいさかに映明けわたる 森重羊鈴
- 雨空におびやかされつつ事もなく 小野山文春
- 空典無事に四日目に入る 石倉佐内
- 何もかもふちまけ語る眞実の 榎田糸子
- 友の欲しさを歎きある君は 工藤 勘一
- バスターの三十年祭に集いさし 森重羊鈴
- 人々の群に昔しのほん 小野山文春
- 栄え来しわがバスターも三十年 石倉佐内
- 右や左によろめきつつも 榎田糸子
- はろ( )と風情う花散る此國の 工藤 勘一
- 夕はるかに祖国を思ふ 星野きよし

ラインニア戴冠式

七月二十日夜演芸場にて、ラインニアの戴冠式が観衆三千を前に華々しく行はれた。

- ラインニア 信太 典子さん
- 横田 幸子さん
- 佐藤 よし子さん

秘密? 女王候補のボットが呆れた金高は?



浜パウリス  
少年野球選手権大会  
御礼のことば

去る七月十二、十三日アマゾンチーナ球場で行われた少年野球、全泊出場権カントリー戦に出場の際は御声援を頂きありがとうございました。ごさいます。勝運に恵まれず、やがかりな味で準決勝で敗退致しました。敗軍の将、兵を語りすと申すか、また前途洋々、今年も駒を休めて策を練ることに致します。

尚早稲田大学チーナ招聘委員より  
一七〇〇円。仲奇附ありがたく御礼申上げます。

◎会計報告

(支出部)	バス支那抗諸費用	三五五四
	バス支那遠征諸費用	一三六〇
	ボール及道具代	三五九五
	花火代及石炭代	二六〇〇
	バス支那アマゾンチーナ歓迎費	六二三〇
	マク用品一切	二二〇〇
	アマゾンチーナ遠征諸費用	八〇〇〇
	練習中の諸費用	二一七〇
	早稲田チーナ参観費足代	三〇〇〇
	予選参加費	五〇〇〇
	アマゾンチーナ市滞在費	八九六五
	選手慰労費	一九七二
	会計報告費	一〇〇〇
	合計金	二四、四一九
(収入部)	昨年年度繰越金	三一、一四七
	シネマ利益金	九、一九三
	寄附金	三〇〇〇
	小橋幸三郎様	三〇〇〇
	棟近麻能様	一〇〇〇
	秋沢ハル様	二〇〇〇
	板垣葉局様	一〇〇〇
	早稲田チーナ招待委員様	一七〇〇
	細江菊様	三〇〇〇
	銀行利息	八九七三
	合計金	四四、〇〇一
	差引残金	一九、五八二

右の通りでございます。

一九五八年七月二十日

バスロス少年野球世話人  
細江 菊  
池内 藤 茂

御礼

私ことこのたびの卯祭りに級友のおすすめに従い、カンジタットいたしましたところ、幸いにも次点で優勝リンサーガの栄冠をいただきました。偏えに皆様方の御援助によるものと厚く御礼申上げます。

七月廿一日

横田 幸子

横田幸子後援会

高商一年生、一同  
夜間中学一年生

前畧、このたび私方の幸子が級友方ですすめられ、女王候補に生まれたので私も引込みがつかなくなり、世間様では親馬鹿をヤンリンと、お笑ひなさることも打忘れ、四方八方の知人友人の間を駆けまわり、三四日ほどは寝食を忘れて皆さん、ご無理を申しました。その甲斐、否皆様の御同情によりまして、とうとう次点に漕ぎつけました。横田を声援してやれ、の音が轟々と伝わりまして、身にしみて嬉しかったです。生涯の感激と申しても過言ではないと思います。ここに、めったにさけない頭をさけて厚く御礼を申上げます。

七月廿一日

横田 浅吉

各位

御礼 広 告

本専入植祭にはロクトール(アナンサー)をやめて、もっほら出演者として活躍するつもりでしたが余り上成績ではなかったようです。それにもかかわらず、御ひいき筋より激励の御花をいただきました。ありがとうございます。

シヤーカー区 本田 正雄

本田 一家

- 横田 浅吉様 聖市 杉田 時計店様
- 石橋とし子様 横田 正善様
- 紫田美穂子様 梶田 商店様
- バスロス週報社様 サンパロ 田地 道様
- 岡田豆腐店様 サロン 戸田 様
- 宮武 勝様



### 四 移住地交歓野球

去ル七月十八日ヨリ三日間、アラ拓四  
 移住地移住野球カバストス中央カンホデ  
 行ハレト、トレスバラス(アサイ)は不参加  
 タツタノテ、ハストス、アリアンサ、ナ  
 エチ、三チームで、一ク戦ヲ行ナイ、バ  
 ストスが優勝シク

### 関係者世話人ヨリ御礼ノコトバ

祭典のよびもの、四移住地交歓野球大  
 会は盛大に且つ頻りに試合を致し致しま  
 した。多数の選手を一線会館に合宿させ  
 炊事をいたしましたので、費用も嵩みま  
 した。処、みなさまの御後援により大過な  
 く使命を果たすことができました。あり  
 がたく御礼申し上げます。

### 寄附をしまして下さった方々

金	一〇〇〇	西	後藤 敏 雄	標
〃	三〇〇	〃	シヤカラ 大 谷	〃
〃	二〇〇	〃	三野 梨葉 店	〃
〃	一〇〇	〃	佐々木 榮 店	〃
〃	五〇	〃	小野 吉 村	〃
〃	一〇	〃	シヤカラ 吉 村	〃
〃	五〇	〃	カサヘルナシカキマス	〃
〃	二〇	〃	能見 利 八	〃
〃	二〇	〃	本田 正 雄	〃
〃	二〇	〃	阿部 敏 郎	〃
〃	二〇	〃	上田 敏 史	〃
〃	二〇	〃	横田 正 義	〃
〃	二〇	〃	黒川 三 男	〃
〃	二〇	〃	西村 英 一	〃
〃	二〇	〃	スロリア 草野	〃
〃	一〇	〃	中山 山本カ	〃
〃	五〇	〃	ペイラハレット文休協会	〃
〃	二〇	〃	古沢 商 店	〃
〃	五〇	〃	友谷 千 丸	〃
〃	三〇	〃	重道 商 店	〃
〃	二〇	〃	崎田 春 一	〃
〃	二〇	〃	水馬 和 ス ト	〃
〃	二〇	〃	茂庭 善 亮	〃
〃	二〇	〃	小林 三 雄	〃
〃	二〇	〃	鳴原 三 郎	〃
〃	五〇	〃	松本 誠 治	〃
〃	五〇	〃	竹内 清	〃
〃	二〇	〃	祭典委員会補助金	〃
〃	二〇	〃	ソルマスライホ	〃
〃	二〇	〃	サンバウツ田中博	〃
合計	金一五、五二〇	〃	〃	〃

### 物品寄附者のお名前

白米	一俵	フラタク製糸会社
白米	一俵	太郎田商店
白米	一俵	前山商店
白砂糖	五キロ入五袋	梶田商店
珈琲粉	五キロ	バール水口
珈琲粉	七キロ	三田商店
バクチン	二俵	佐藤商店
トリアー	一打	小茂田商店
トリアー	二箱	西村英一
トリアー	一箱	アリアンサチーム
オーボ	一打	友谷千丸
ソジンニア	三箱	バール柳浦
レンニア	二米	フラタク製糸

### 炊事部其他会計報告

寄附金合計	一五、五二〇
白米残(俵物)売却	一、〇〇〇
レニア残(二米)売却	一、五〇〇
合計	一六、六七〇

### 支出之部

油	一、二六〇
ホシ及茶菓子	一、七五八
カルネ	二、〇〇〇
モルタネーラ	一、〇八〇
野菜代	一、六五七
調味料	九〇〇
カレックス	五三五
消耗品其他	一、六〇〇
広告代	八五二
炊事手伝人(並八十二人)	三、〇〇〇
外記念品、贈答	五、〇〇〇
ホール代	一、四〇〇
花火代	三、九〇〇

合計 一五、八九五

左、残金はA、D、B 野球部基本金  
 へ繰入れました。御承諾下さい。

一九五八年七月二十四日

三角野球世話人  
 柳浦 竜太郎

追って優勝旗は池内ハサール店頭にかかっています。



御案内

来る八月三日、当サウーテ区の入植祭を挙行いたします

午前十時 学校に於て表彰式

ついで シュラスコ宴会

正午(十二時) 青年団運動会

午後七時 シネマ大会

封切映画 三本立ての  
大にきわい

どなた様も御遊びがてらおいで下さる様、おまち申上います

サウデ区 区長 北谷幸雄  
区民一同

御礼の言葉

此のたびの入植祭には余興の如くカラムの一部に加えて頂いた事だけでも一同喜んで居りましたのに、まだ其の上、沃山の御花を頂きまして誠に有難うございまして、週報紙上をかりて厚く御礼申上います  
七月二十二日

シヤカラ女子青年団一同

- 小沢 勇様 信田 龍吉様
- 貝田 尺見 山口 金丸
- 本田 たね子 古田 菓子店
- 吉田 敏子 吉田 良子
- 梶田 商店 池内 バザール
- 三次 商店 古沢 キタン
- 西川 誠 小茂田 呉服店
- 聖市 杉田 時計店

御わび

本号は七月二十六日に発行予定の処、祭り酒がたまたま三日ばかり遅刊となりおそれ、その上、訛字が少く面白味を欠きました。お詫言下さい

週報社

御礼

三十年祭典演芸会に際しまして過分なる御花を頂き誠に有難うございまして、御儀乍ら紙上に芳名を覚表して御礼の言葉に代えさせていただきます  
七月二十三日

ひばり楽団

- ホスト水馬彦昭様 聖市中村国政様
- 松本久雄様 信太兵治様
- 有馬光子 守越外治様
- 渡辺信文 前山商店
- 福森照史 小茂田呉服店
- 友谷洋服店 橋本絹糸
- 豊島貞一 中島すみ子
- 横山茂吉 西川誠一
- バラナ中山菊子 シカラ大倉
- 板垣寿勢男 梶田商店
- 中央前田 杉山みつ
- 河野米子 中央 佃
- 聖市森商店 聖市三宅ひろレ
- 岡田 三次商店
- 梶山茂平 重道商店
- キンダ古沢 池内バザール
- 古田菓子店 湯井商店
- 能見利八 アサイ 佃
- バスター週報社

祝

バスター三十年祭典

御菓子

Bombonia Dracena  
ボンボンニア  
ドラセーナ

ドラセーナ市ホント前  
は是非内より御休憩下さい  
おまち申上います

石田菓子店

石田 巨明





# 立休農の大家

藤崎盛一先生

## 北欧視察 講演會

来る八月四日(月) 午後七時

産業會館に於て (入場無料)

先年賀川豊彦先生の御紹介で渡伯せられ、バストスでも「立休農」について熱弁四時間になつて農業指針をのべられました。その藤崎先生が、ネンマーク、ノールウー等北欧九ヶ国を旅行され、再び渡伯約五十日にわたつて講演をされることになりました。

非常に有益、興味あるお話があります。ぜひ青年諸君の未聴を願います。子供さん以外、どなたもおいで下さい。

主催 バストス 青年団

もうすぐ ミシン値上りします

五名限り旧値 旧コンジソンで差します

中早いがち

太郎田商店

安クテオイシイ日本食料品

味の素 カンズメ類 到着

パール水口

牛乳値上

イボフレツツ

一リットル 七〇〇

一ガラフア 五・五〇

七月一日より 実施いたします

バストス

レイタイロ組合

# カナダの使徒

中山吾一先生

末植

八月七日夜七時半  
バストス産業組合会館に於て

## 講演會 及 北米とカナダ風景

コロリド映画  
カナダ・日本・沖繩・スライド

コロニア五十年祭に、カナダの日本人及大使からのメッセージを携え、  
カラジル各地伝道 講演をなさる為めに  
未伯されたものであります。

戦時中カナダ政府に強制收容され、非常に苦勞された日米国交回復前に米国の警省の特別許可を得て巡回伝道をした日、沖繩伝道に盡したり、日本移民カナダ入国運動を起したり、一日として席温まる暇なく活動されてい  
る 基督教の牧師、中山先生の熱弁をお聞き下さい。かつての新里先生が称  
賛される程の方です。

在伯邦人キリスト教聯盟

# ポニ店

をゆずります

家事の都合で

盛業中のパリアを居抜き

ます おゆずりしたし

得意も、そのまま引継いで下さるし

最も安全な商賣です

素人の方には製造法一ヶ月にわたり

伝授いたします。

委細 左記へ御面談

バストス

パリアロヤル

青山